



# むなかた市議会だより

令和元年9月定例会号

●発行 / 宗像市議会 ●編集 / 議会広報編集部  
●〒811-3492 福岡県宗像市東郷一丁目1番1号  
●TEL 0940-36-1119 FAX 0940-36-8591  
●市ホームページ=http://www.city.munakata.lg.jp/050/080/index.html

## 平成30年度決算を認定

一般歳入 376億7850万円  
一般歳出 371億2990万円

令和元年第3回宗像市議会定例会が、9月22日から9月27日までの期間で開催され、市長提案の議案28件、意見書案3件、発議4件について審議を行いました。  
本定例会では、みなさんが納めた税金などがどのように使われたのか、9つの会計の平成30年度決算審査を2つの特別委員会で行い、すべての会計の決算を認定しました。

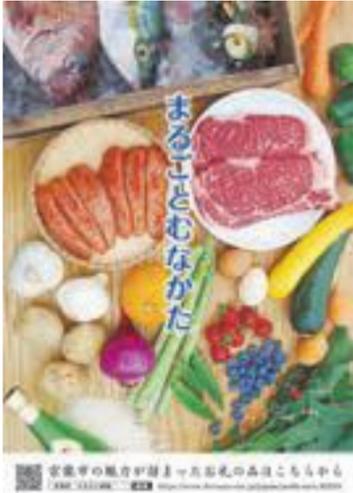
### ◆平成30年度決算審査の内容◆

前年度の決算と比較して特徴的なものは、歳入では、市民税個人が1億1243万円増、市民税法人が32336万円増、市税全体では9639万円増。歳出では、社会保障関連経費のうち障害者福祉費が2億4174万円増となったことです。一般会計全体としては、歳入で5億1752万円減、歳出で1億1208万円増となりました。

また、30年度の事業実績として、以下のような報告がありました。

- 宗像国際環境100人会議を開催…3日間で延べ784人参加。
- 企業誘致…1社の工場増築に対し企業立地補助金を交付。固定資産税や新たな雇用による市民税など、約4年で補助額を上回る効果を生む。

- 試算している。また、3社の企業誘致に成功。
- ふるさと寄附…寄附額は15億9057万円と過去最高額。
- 定住化推進…定住の各種補助金を505件、総額2億6604万円交付し、728人が転入。補助金の効果額は、税収4億4000万円、地域への経済効果8億8000万円と試算。
- 農業振興…新規就業者20人に対し、農業次



ふるさと寄附ポスター

- 世代人材投資資金を交付。専門指導者によるフットローアップを実施。
- 道の駅むなかたの駐車場増設…国道495号の渋滞が解消。
- 子ども相談支援センターを創設…子どもやその家庭にかかわる課題を連携して支援する体制を構築し、延べ1万1600件の事案に対応。
- 保育施設の拡充…新設、増築などにより定員を215人増員した結果、令和元年度は待機児童が解消。

### ◆委員の意見・要望◆

決算報告および審査の後、特別委員会の委員から、次のような意見・要望が出ました。

#### ◆賛成意見

▽今一度、事業の見直しを行い次年度予算に反映すること。同じ予算でも連携すればより大きな効果が得られることもある。

▽これからは稼ぐ視点をしっかりと持ち、市長がイメージする稼ぐ施策を推進する組織づくりを目指してほしい。

▽子ども相談支援センターが創設され、福祉と教育分野が連携して支援する体制が構築されたことを評価し、今後の体制強化に期待する。

▽イベントの同時開催などの工夫による経費抑制や、ボランティアに参加する市民を増やし災害時に備えるなどの合理化を図り、

限られた予算の適正な配分を求める。

#### ◆反対意見

▽総合的な子育て支援では自治体間競争に遅れをとっている。宗像の子育て環境の良さをアピールすることで子育て世代を呼び込み、生産年齢人口増による安定した財政確保がまちづくりの基本である。住民の福祉の増進と地方自治の本旨の実現に向け、自治体運営の基本に立ち返るべきであり、その点は不十分である。

▽同和団体の活動報告や補助金決算報告について、これまでも指摘してきたが改善が見られない。



(※)30年度決算の詳細は、本号(11月1日号)のむなかたタウンプレス2〜3ページを参照



平成30年度決算で報告された事業のうち、特徴のある事業について紹介します。

### 歳出

海の道むなかた館 展示活用事業費

平成31年1月1日から2月17日まで、漫画「宗像教授シリーズ」を題材に、市内の出土遺物と合わせた特別展「漫画×考古学」宗像教授帰省録」を開催し、2万6177人が来場しました。漫画ファン層も取り込んだ、新しい手法による文化財の魅力発信を行いました。

### 特別会計

渡船事業特別会計 船員を前倒しで採用

渡船事業においては船員の確保が重要な課題となつていきます。令和元年度に船長が定年退職を迎えるため、1年前倒しで30年度に正規船員を採用しました。また、令和2年度には3人の船員が定年退職予定であるため、船員確保と技術継承のため同様の採用ができないか人事課と協議中です。

### 介護保険特別会計

地域包括支援センターの設置完了

28年度から、各日常生活圏域(※)への地域包括支援センターの設置を進め、30年度で全6カ所の設置が完了しました。先に開設したセンターでは年々相談件数などが増え、今後センターの認知度向上に向けて、高齢者に関する身近な相談窓口として積極的にPRを行ってまいります。



- ※宗像市では中学校区を基準として
- ▽吉武・赤間・赤間西
- ▽自由ヶ丘
- ▽河東
- ▽南郷・東郷
- ▽日の里
- ▽玄海・池野・岬・大島の6圏域を定めている。

### 全員賛成 可決

### 令和元年度一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ13億9976万円を増額し、総額を363億2593万円とする歳入歳出予算の補正などが提案されました。

### 主な質疑

問 小学校トイレ改修のスケジュールは、

補正予算の主な内容は、国の補助事業採択によるJA宗像のイチゴパッキングセンター整備に対する産地パワーアップ事業補助金2億9626万円の計上や、プレミアム付商品券の販売方法変更による消費税引上げ対策事業費の増額、国の補助事業が追加採択されたことによる小学校のトイレ改修事業費の増額などです。

答 設計は29年度に完了している。子どもたちの学習環境への影響を考えると工事可能なのは夏季休業中であるため、関係予算は全額繰り越して、令和2年度に施工する予定である。



令和元年9月定例会

# 一般質問

一般質問とは、議員が市の行政事務全般について市の見解を問うものです。

令和元年9月3日から9月6日の4日間にわたって、17人の議員が合計31項目の質問を行いました。

- 質問を行った順に掲載しています。
- 掲載する項目や内容は質問を行った議員に確認したうえで掲載しています。
- 質問の詳細については、宗像市議会ホームページの録画映像もしくは11月下旬に公開予定の議事録をご覧ください。



### 今後の財政状況について

政道むなかた／安部 芳英



**問** 現状では施設の経営と維持管理を各部署で行っているが、一元化して進めた方が合理的であり、何よりも職員のノウハウの蓄積、情報の共有、事業の承継、人材育成などの効果も期待できる。維持部門の整理も必要では。

**答** 効果的に施設を維持管理していくため、現在取り組んでいるアセットマネジメント計画の見直しの中で、庁内の推進体制の強化、専門部署の設置も検討していく。

**問** 他市では市有財産の有効活用について、民間

**問** 事業者は広くアイデアを募集している事例がある。本市も必要では。

**答** 昨年度、庁内に公有財産等活用検討委員会を設置した。今後は民間からも広く意見を募るといった視点も取り入れる必要があると考える。

**問** 職員による提案制度もこれから必要では。

**答** 前向きに検討したい。



### 宗像市のスポーツ推進について

むなかたクラブ／北崎 正則



**問** スポーツ推進計画の進捗よく状況について、現時点の成果と課題は。

**答** 成果はスポーツサポートセンターを開設し、ライフステージに合わせた運動プログラムの提供に着手したこと。課題は運動実施率が目標に届いていないこと。

**問** スポーツ協会からの要望や意見をどう把握しているのか。

**答** 要望書として提出され、緊急度に応じて優先順位をつけ対応している。

**問** 老朽化が進む宗像中央公園内の野球場、テニスコート、植栽はどのよ

**うに管理していくのか。**

**答** 安全に配慮した最低限の補修にとどまってい

**問** 野球場は補助金活用を検討。危険な植栽は伐採などを検討したい。

**答** 位置や数によっては影響が出る可能性がある。情報収集に努めたい。



着床式洋上風力発電



### 所有者不明土地問題の解決を

公明党／岡本 陽子



**問** 所有者不明土地の現状と課題は。

**答** 市で把握している所有者不明土地は農地、宅地など合わせて85筆、10万9196平米であり、本来の土地利用が果たされておらず、管理不全が問題。また、固定資産税の納税通知書が送付できないため、税収が確保できず経済的損失につながっている。相続財産管理人制度など活用し、問題の解決を図りたい。

**問** 管理できない空地、空家対策を

**問** 高齢化により体力的にできない、遠方に居住している、第三者に依頼したいものの費用負担が難しいなどの課題がある。空家調査で把握した倒壊など保安上著しく危険な6軒のうち、先駆的に2軒を略式代執行により解体撤去している。



### 市民に働き、伝わる広報に

ネットワーク／笠井 香奈枝



**問** 市の広報の役割は。

**答** 市政情報発信や市民との情報共有、共感醸成の場であり、市の魅力を伝える役割も担っている。

**問** 宗像市の全世帯数に対して、広報紙の印刷部数が少ないのはなぜか。

**答** 自治会を通して配布しており、自治会から報告があった数字を基に印刷部数を決めている。

**問** 希望する自治会には広報紙配布の業者委託を考へてはどうか。

**答** 自治会への影響、コストなど総合的に検討し、情報収集に努めたい。

**問** 家庭ごみの出し方や

**防災マップなどが全戸配布されていないことをどう考へているか。**

**答** 全戸に届く手法の検討が必要と考える。

**問** 市の大きな行事や講演会は、市ホームページのトップ画面に載せてはどうか。

**答** 日程が近づいたら再掲するなどの手法が必要。



むなかたタウンプレス



### 太陽光発電施設の設置について

宗像志政クラブ／伊達 正信



**問** 宗像市景観条例に事業用太陽光発電施設の届け出などを追加し、規制強化を図れないか。

**答** 規制の判断が難しいところである。施設廃止後の措置も含め、他市の条例なども参考にし、市として何ができるのか調査検討を行っていくきたい。

**問** 地島の振興促進について

**答** 地島小学校の存続について、教育委員会はそのように考へているか。

**答** 島民の意見を尊重し、島に児童がいる間は、できる限り学校を存続していきたいと考えている。

**問** 特産品であるツカメのブランド化の現状は。

**答** 地域の事業者と一体となり、市内外のイベントなどを通して販売促進に取り組んでいる。

**問** 大島は高速ブロードバンド事業が予定されているが、地島については、

**答** コストを抑え、利便性の高まるようなものを模索検討していきたい。



野坂地区の太陽光開発



### 健全財政維持のための抜本的改革を

公明党／石松 和敏



**問** ここ数年は財政調整基金を取り崩して財政運営を行ってきたが、適切な基金残高はどの程度か。

**答** 豪雨災害などに迅速に対応するためには、最低でも30億円は必要。また、年度間の財源の不均衡調整、安定的な財政運営を行うためには50億円前後が適切と考へる。

**問** 次年度からスタートする第4次行財政改革の基本的な方針を伺う。

**答** 従来の経費削減や事業の見直しに加え、民間企業による公共施設の有効活用やA-1の導入による生産性向上など新

**たな領域にも挑戦したい。**

**問** アセットマネジメントの推進には全庁的な推進体制が重要になるが。

**答** 計画の進行管理と維持更新の計画に沿って実施できる専門部署の設置が必要。次年度は機構改革も視野に入れ、部署の設置など全庁横断的な部門が必要と考へる。



建て替え計画がある城山中学校



### 公契約における公正性について

日本維新の会／岩岡 良



**問** 現状では、市内業者が指名競争入札に参加できない場合の理由が不明確である。地場企業育成のために、何らかの指名基準の公表が必要では。

**答** 明確な指名基準の公表は難しいが、あまり指名を受けられない業者の受注状況を精査していく。

**問** 高すぎる落札率に鑑み、

**人事院勧告対応について**

**問** 5年連続で人事院勧告に従って市職員の給与などが引き上げられているが、この議案の中には、議員など特別職の待遇改善も含まれている。議員など特別職についても、厳しい財政難を乗り切るには身を切る覚悟が必要と考へたい。

**問** シェアリングエコノミーの活用を

**答** 再生の実証実験としては、道路運送法で規定された条件に該当せず、バスやタクシーの事業者から承認を得ることも難しいため実験や導入は困難。

**問** シェアリングエコノミーやレンタルサービスがビジネスとして広がっている。地域の遊休資産を地域資源と捉え、取り組みが広がるよう支援したい。

**答** 観光施策への活用は、民泊など浸透しつつある。情報収集に努める。

**問** ふれあいバス事業をUBER(※2)などと連携した自動車の相乗りに変更しては、また回地

**問** 市長のカノコユリの思いは。

**答** 市のシンボルで貴重な花。宗像で自生し続ける取り組みを検討したい。



市の花 カノコユリ

(※1) シェアリングエコノミー：人・モノ・場所・乗り物などを、インターネットを介して個人間で貸し借り・交換をして成り立つ経済の仕組み。(※2) UBER(ウーバー)：自動車配車ウェブサイトをアプリ。



子育て支援策の充実を求めて  
日本共産党/新留 久味子



3歳未満児の最も高い所得階層で保育料を比較すると、市費で補助している糸島市の方が4万5千円安い。

保育料軽減策や多子世帯への補助を拡充できないか。

保育料軽減も重要ではあるが、良質な保育の環境整備が第一であり、現在は保育士の確保に注

力している。多子世帯の補助拡充は子育て支援策全体の中での検討が必要。10月から副食材料費を実費負担する世帯に市独自の軽減策を検討できないか。



バス停にベンチ設置を  
多様な工夫でベンチを設置している自治体がある。本市での設置は、設置が可能な場所については検討したい。



公共施設の効率化について  
宗像志政クラブ/井浦 潤也



地方財政が厳しさを増す中、公的不動産の有効活用や公共施設の連携が必要と考えるが、ユリックスとメイトムを一体化したゾーン構築を行うことで、市民の利用価値が上がるのでは。

設置目的や利用用途は違うが、一体的に利用したいというニーズに、各施設の特性を生かせるような方策やPRを検討したい。

今後の公共施設の存続のためには、稼働公共施設を目指すことが重要。民間の知恵を取り込んだ民活化を進めてほしい。

民間手法の導入によるサービスの向上や集客増、収益改善を図り、魅力を高めていくような取り組みを進める。



宗像ユリックス



「稼く」自治体の方策環境編  
宗像志政クラブ/森田 卓也



環境への取り組みとして、釣川河口域と周辺海域を利用して素焼き玉(※6)を用いた二枚貝(アサリ、シジミ、ハマグリなど)の再生事業を検討できないか。また新しい取り組みとして、再生事業で漁獲された貝を本市のブランドにできないか。

現在実証実験を行っている宗像漁協の青壮年部を含め、情報を共有しながら検討したい。しっかりと実証実験の成果が出て生息量が増えていけば、本市の新たなブランドと

再生事業については、現在実証実験を行っている宗像漁協の青壮年部を含め、情報を共有しながら検討したい。しっかりと実証実験の成果が出て生息量が増えていけば、本市の新たなブランドと

して水産振興につなげていけると思う。素焼き玉は子どもでも簡単に作ることができ。竹魚礁と並行して宗像国際環境100人会議のフィールドワークとして取り入れてはどうか。



素焼き玉に着底しているアサリの稚貝



日の里口のバス待機場について  
市民連合/福田 昭彦



東郷駅日の里口にある西鉄バスの待機場はUR都市機構が所有している。昨年、URがこの土地を売り出したところ

代替地が見つからなければバスの便数を減らすしかないと考えているとのことだが、市の考えは。URから来年度の待機場活用は未定との回答があった。もし現在の待機場を使用できず、代替地を東郷駅近郊に確保できなければ赤間営業所を起点とした運行に変更せ

直しも含めて検討したい。

福岡教育大学について  
福岡教育大学が果たしてきた役割は、教育面での功績はもとより行政施策や地域活動にも大きく貢献。教育都市など宗像の都市イメージの中核的存在である。



山田川の水害対策と県道拡幅  
日本共産党/植木 隆信



沼川と山田川の合流箇所(JA河東支所の南側水路)の負担減のため沼川の水路変更を。沼川からの雨水量

も考慮して、県が山田川河川改修事業を下流から進めている。水害対策には本流の水位を下げるのが第一であり同事業を最優先で進めたい。昭和38年計画の稲元の都市計画道路は、現在では住宅地を横断している。計画の見直しを。県事業の進捗よくに合わせ適切な時期に見



貧困対策の各種取り組みについて  
市民自治の会/上野 崇之



子どもの貧困対策などをまとめた宗像市子どもの未来応援計画の策定時に得られた知見と事業成果、今後の課題は。保護者アンケートと団体ヒアリングで、ひとり親世帯の中に子どもの学習環境などの課題を抱えた家庭が比較的多いことを確認した。子ども相

談支援センターでは、相談窓口を一元化し、関係機関との連携や情報提供により課題解決につなげているが、相談件数は増加傾向にあり、今後も体制強化が必要である。

まちな節目に向けた活動の支援は  
令和3年度に日の里

地区はまち開き50周年を迎えるが、都市再生と関連つけた支援策は。進行中のひのさと記憶プロジェクトに多方面でかかわっている。特に情報発信などに積極的に協力し、将来への節目の年になるよう努めたい。



第2期計画を策定中の宗像市子どもの未来応援計画



オンラインキャンプ地の効果は  
宗像志政クラブ/神谷 建一



キャンプ地誘致に期待する効果は。宗像を国内外に発信できる絶好の機会になる。また国際交流、地域経済活性化、にぎわいのあるまちづくりなどに寄与することを期待している。

GA(※3)との連携強化により今後の国際交流をさらに推進できないか。

積極的に国際交流が行えるよう、今年度から経費の一部に企業版ふるさと納税が充てられる仕組みを創設した。

賭けない・飲まない・吸わない三原則を守る健康マージャン推進を。市内の先進事例を他の地域に紹介し、普及に取り組んでいきたい。

市長名を冠した地域対抗の囲碁や将棋、カラオケ大会などの開催を。大会を開くことでコミセンに集つきっかけになればよいと思う。市も支援をしていきたい。



学童保育事業の現状と今後  
日本共産党/末吉 孝



(株)テノ、コーポレーションが指定管理者であった8年間の総括は。評価できる点は平日の延長保育実施など。問題は運営管理責任者の不在や、個人情報目的の再利用により業務改善勧告を行ったことなど。

シダックス(※5)が運営する学童保育所での主任指導員不在時の対応は。一時的に指導員の1人を主任指導員代行とした後、主任指導員として仕様書にない代行を容認した理由は。代行の配置により運

営に支障が出ることを防いだ認識している。文房員などが必要な時に届かないと聞か。現場に確実に備品などが調達されるよう指定管理者に伝えていきたい。吉武や赤間のように学童保育所の指定管理を「コミュニケーション」を希望があるならば支援していきたい。

宗像児童相談所と本市の子ども家庭相談室の児童虐待の相談件数と通告件数は。30年度、宗像児童相談所における本市分の通告件数は102件。本市の子ども家庭相談室が対応した児童虐待に関する相談は実人数で207人。延べ件数で2009件。通告件数は21件で、対象児童数は31人である。



児童虐待ゼロの宗像市を目指して  
宗輝会/小島 輝枝



虐待など懸念がある児童の安全確認のために長期休みに登校日を設置してはどうか。登校させるよりも、確実に自宅を訪問して確認を行う方が得策であると考え。

宗像児童相談所と本市の子ども家庭相談室の児童虐待の相談件数と通告件数は。30年度、宗像児童相談所における本市分の通告件数は102件。本市の子ども家庭相談室が対応した児童虐待に関する相談は実人数で207人。延べ件数で2009件。通告件数は21件で、対象児童数は31人である。

虐待通告後の対応の流れは。48時間以内に児童の状況を確認し、傷、あざが認められ、緊急性がうかがえる場合は、宗像児

童相談所と連携して保護者と面談などを行い、児童の安全確保に努める。虐待など懸念がある児童の安全確認のために長期休みに登校日を設置してはどうか。登校させるよりも、確実に自宅を訪問して確認を行う方が得策であると考え。



福岡県宗像児童相談所

ざるを得ないという西鉄の見解もある。西鉄と代替地や代替方法を協議してきたが、現状は有効な方法は見つからない。今後URに明確な回答を求めるとともに西鉄と協議・検討を行っていく。



第2期計画を策定中の宗像市子どもの未来応援計画

(※3) GA(グループ)バーバリアーナ。(※4) スクールガード・リターナ(警察官OBなどに委嘱し、学校の防犯体制と学校安全ボランティア(スクールガード)の活動に対して専門的な指導を行う者。)(※5) シダックス(シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社。平成30年4月1日から4年間、宗像市学童保育所(南・北エリア)の指定管理者。)(※6) 素焼き玉(粘土とかき殻粉未などを混ぜ合わせ、8〜15mm程度に丸めて素焼きしたもの。)

提出議案と議決結果

9月定例会で審議した議案のうち、主な議案と賛否が分かれた議案を紹介します。すべての議案の議決結果はホームページでご覧いただけます。

【全員賛成で可決した主な議案と内容】

Table with 2 columns: 議案名 (Proposal Name) and 内容 (Content). It lists three proposals related to environmental taxes, childcare support, and public employee compensation.

【賛否が分かれた議案名と議決結果 (○：賛成した人 ◆：反対した人)】

Table with 13 columns for council members and 7 rows for various proposals. It shows the voting results for each member on each proposal.

※花田鷹人議長には、賛成・反対の意思表示をする表決権がありません。ただし、賛成・反対が同数になった場合、可否を決める裁決権があります。

意見書

1件の意見書を可決し、国に提出しました。

新たな過疎対策法の制定に関する意見書 (全員賛成で可決)

過疎対策については、これまでの総合的な過疎対策事業により一定の成果が上がっているが、依然として多くの集落が消滅の危機に瀕している。現行の過疎地域自立促進特別措置法は令和3年3月末で失効するが、過疎地域が果たしている多面的・公益的機能を今後維持していくためには、引き続き過疎地域に対する総合的かつ積極的な支援を充実・強化し、

中学生と議員がディスカッション

9月30日、河東中学校で、生徒たちが宗像市・河東中学校区の将来を考えるディスカッションが開催されました。

同校区に在住の宗像市議会議員4人も参加し、生徒会のみなさんと一緒に宗像市向校区の10年・20年後の姿を想像しながら、今後宗像市が発展していくために必要な課題について、幅広く意見交換を行いました。



活発な意見交換を行う生徒と議員

多くのご意見・アイデアありがとうございました

「議員と語ろう！」 議会報告会

10月6・10・11日、に赤間、南郷、岬の3地区のコミュニティ・センターで議会報告会を開催し、合計84人のみなさまにご参加いただきました。

今年もグループ形式で座談会を行い、あらかじめ定めたテーマ(子育て支援、高齢者が住みやすいまちづくり、まちの活性化)を中心に、活発な意見交換が行われました。

ごみの戸別収集はできないか、保育士は確保できているのかなど、地域の方のご意見を幅広く直接伺うことができ、大変有意義な会となりました。

いただいたご意見は、各常任委員会で協議を行い、今後の議会運営の参考にさせていただきます。



赤間地区での報告会の様子

また各委員会でもとめた意見については市長にも報告いたします。報告書が完成しましたら、各地区コミュニティ・センターに配布し、市議会ホームページにも掲載します。

市立学校で空調設備の整備が完了

9月2日の連絡会議で市立学校のすべての普通教室に空調設備の整備が完了したことが議会に報告されました。

この空調設備整備には民間の資金、経営能力、技術力を活用して行うPFIという手法を導入することにより、今年度に全校一斉に整備することができ、2学期から使用が開始されています。



教室に整備された空調設備

市議会のくわしい情報や議会中継はホームページをご覧ください。



ホームページQRコード

宗像市議会 検索

お問い合わせは 議会事務局へ Tel.0940(36)1119

今議会で議員に就任して3年が経過しました。これまでさまざまな分野の施策に精通できるよう、市民のみなさまとの日頃からの会話を大事にし、真面目に取り組んでまいります。

井浦 潤也

編集後記

一般質問の内容は、開会3日前に議会ホームページに掲載します。請願の提出締切日は11月25日(月)です。本会議と委員会は、市内の公共施設やホームページで中継しています。スマートフォン・タブレット端末でもご覧いただけます。

12月定例会の日程

Table with 2 columns: 日程 (Date) and 内容 (Content). It lists the agenda for the December regular session, including various council meetings and committee reports.